

# 市民オンブズマンわかやま

ニュース NO116

発行責任者 畑中 正好

発行日 2016年3月14日

連絡先 和歌山市十二番丁10番地 和歌山合同法律事務所内 TEL 073-433-2241 FAX 073-433-2767

http://www.naxnet.or.jp/~wa\_obz/ Eメール wa\_obz@naxnet.or.jp

## 第20回定期総会を開催

# 成果に確信持ち30年めざそう!!

## 新世話人中北氏を選出

当会は、去る4月28日に記念すべき節目の第20回定期総会を開催しました。神野文夫（世話人）さんの死を悼み黙祷からはじまった総会は、質疑討論の後、提案議案をすべて採択し、役員を選出し、新世話人として中北幸次氏を選出しました。

開会あいさつをした 1面で報じられる凄じり返り、官官接待を明卓宗・元和歌山市長をらかにした食糧費の追追及した石泉閣問題は、及がマスコミ全国紙の包括外部監査の指摘を

挙運動公費負担問題で

43件合計約499万円、

県卓球協会の県市補助金合計約1300万円、

県議政務調査費では合計約8591万円など大きな是正を実現させたこと。

また、この1年間に、森県議の政務活動費から支出していたモンゴル視察費を、物見遊山の私的旅行だとして全額返還させたこと。

さらに、政務調査費問題で、住民監査請求を準備していることなども報告しました。

畑中氏は、会の若返りについて、年齢の若い人も求められるが、自身も世話人の多く方の20年前の年齢であり、まだまだがんばれるとしました。

松井代表は、会のホームページをリニューアルした。市民オンブズマンで検索すると団体では全国連絡会に続いて2番目であり、それだけ注目されていることに確信を持ち、30年を目指そうと結びました。



開会のあいさつする阪本代表。左は司会・杉山氏



閉会のあいさつする松井代表

# 120年の活動を支えた人々

## 定期総会を終えて

阪谷 定期総会、お疲れ様でした。20回を迎えました。早やくもあり、時の流れも感じています。

畑中 ですね。私も白髪頭になり、還暦を超えました。

阪谷 年齢を重ねたこともありますが、それよりも活動に積極的だった3人

が亡くなっているからです。その人達のことを思うと、時の流れをひしひしと感じるのです。

### 3人を忍んで 大きな支え

迫間 昨年も神野文夫さんが亡くなりました。

畑中 神野さんは、「ひげさん」とも呼ばれていました。

緒に、請求の当事者になって県庁や裁判所に行っていました。シヨックでした。まだまだ元気だったのに。

阪谷 私は、岩橋武夫さんと山西良さんのときもシヨックでした。

畑中 岩橋さんは、表に出ることはなかったですが、会計をしてくれていて、月に2〜3回、事務所にこられて帳簿を付けをして頂き、助かっていました。

阪谷 海軍の主計の少尉だったようです。岩橋さんは。

迫間 だから経理に詳しくたのでしょうか。

阪谷 クラシック音楽も楽しまれていました。お好きだった、ですよ。畑中 忘れもしません。大きな五つ玉のそろばんで計算されていたお姿を……。



左側・神野氏。記者会見に臨む

があること、忘れてはなりませんね。迫間 もちろんですとも。

畑中 若返りは、役員の共通の認識ですが、そうはいっても、すぐに年齢の若い人がたくさん増えることも、考え難いこととして……。

迫間 畑中さん、改めて「がんばる」と決意されていました。

迫間 山西さんはおしゃれな人でしたね。阪谷 社交ダンスもされていた。

畑中 会では監査役でした。それに博学でした。いろいろな角度から意見を言ってくれていましたから。阪谷 そうした人達に支えられて、今日の20年

私の年齢は、阪谷さんが入会した18年前の頃の年齢ですから。もう20年は、がんばれるかと。

迫間 会員を増やすことも、旺盛に活動することが大事です。そうではないと増えませんか。阪谷 活動を積極的にす

ることは、3人の思いに  
に込めることにもなり  
ます。一番重要ことで  
すよ。

畑中 ですね。

## 後半10年の活動

阪谷 改めて後半の「10  
年の歩み」(5頁)7  
頁に掲載)を見ました  
が、後半も多彩な活動  
を行っていることが分  
かります。

畑中 はい。前半の10年  
のような華々しさはな  
かったですが……。

迫間 是正金額で一番  
は、高額で、県職員の  
ヤミ退職金のことです  
か。確か、約7億1  
100円だったかと。

## 多彩に展開

## 中心は県議政調査費の追及

畑中 そうです。それは  
他府県の追及の成果に  
便乗する形でしたの  
で、住民監査請求も訴  
訟もする必要もなく、  
だから、目立たなかつ  
たとも言えます。

阪谷 数多く住民監査請  
求を行ったのは、選挙  
運動公費負担金の問題  
でした。

畑中 5、6件しました  
よ。

迫間 確か、仁坂知事の  
選挙カーの公費負担金  
の一部も、返したのだ  
はなかったですか。  
畑中 そうです。そのこ  
とでは、知事室の公開  
質問状を持参した際、  
受け取れ、受け取らな  
い、という押し問答も  
しました。

畑中 私としては、県卓  
球協会の県と市の補助  
金を返還させたことも  
印象に残っています。  
スムーズにいったから  
です。

阪谷 マスコミとの連携  
で、速攻では正に至つ  
た。

畑中 そうです。  
迫間 後半の10年間のメ  
ーンは、やはり政務調  
査費ですか。

畑中 でしょうね。現地  
調査を行ったのが、ち  
ょうど10年前の200  
6年度のことでした。  
阪谷 はい、そのことは  
鮮明に記憶していま  
す。現地調査に向かう  
途中で、車が故障した  
こともあって、忘れら  
れない一コマでした。

畑中 忘れられそうにな  
いですね、そのことは。  
二次訴訟が終了したの  
が昨年です。だから、  
ほぼ後半10年をかけて  
追及したと言えます。

迫間 苦労されました？  
畑中 苦労というか。第

一次訴訟の対象  
者が40人もあり  
ましたので。

迫間 だから、二  
次訴訟では、13  
人にしたのでし  
たね。

畑中 40人は正直  
懲りましたから。  
阪谷 その判決を  
根拠に新たな追  
及がはじまりま  
した。

畑中 そうです。  
すでに2件の住  
民監査請求書を  
提出しました。  
迫間 全面的な是  
正はなされてい  
ない。  
畑中 そういうこ

とです。確定判決を根  
拠にできることはうれ  
しいことです。  
阪谷 今後がんばりが  
いがあると言うことで  
しょうか。では、この  
辺で。



第一次政調費判決日の記者会見



# 県議政務調査費住民監査請求提出

## 現・元10県議に計約1135万円の 返還請求勧告と

### 仁坂知事に計約3155万円の

### 損害賠償請求勧告を求め

3月29日と5月11日に相次いで、10人の元・現県議を対象に政務調査費に関する住民監査請求書を提出しました。引き続き、数人に対する同じ住民監査請求書の提出を準備しています。これは、すでに確定している支出の一部違法を認めた2件の判決を根拠に、判決が対象とした年度以降、平成24年度までの間の是正を求めて追及するものです。



2次住民監査請求書を提出する2人

2件の確定判決は、じ所在の団体が、住所政務調査用事務所と同や看板等で確認できる場合、それらの併用を認め、その併用数を超える事務所費、事務費、人件費の支出を違法としました。また、全額違法とした事務所費や人件費もありました。

按分割合の考え方は、第一次訴訟の一審判決で示されたのですが、それまで、県や議会側は、一切、違法支出はないと主張してきたものであり、かつ、判決の按分の考え方は想定になかったことといえるからです。

だから、判決が対象としている以降の年度の支出も判決に従って、是正の必要なことは誰

にでも分かることです。しかし、一向に、知事も議会も何の是正もしようとしないことから、私達が追及することにしたのです。

10人の事務所費、事務費、人件費支出の合計は約7848万円。そのうち判決に基づき推認できる違法支出金はなんと約5360万円になります。

ただ、返還を求める不当利得請求権には5年という時効があり支出日から5年を経過すると返還請求ができなくなるのです。

そこで、返還請求が可能な5人に対し計約1135万円の返還請

求するよう勧告を求めました。

さらに、第一次訴訟の一審判決（言渡H25年1月29日）後の2ヶ月後には知事は、その判決に基づいて返還請求が可能でありすべきであった。それを怠った責を仁坂知事は負うべきである、として10人分の計約3155万円の損害賠償勧告を求めています。

今回2件の請求で対象にした議員らは、まだ、一部であり、近々、引き続き第3次の住民監査請求を行う予定です。



## この（第10回総会以降）10年のあゆみ

\* 第10回総会までのあゆみは、2006年3月13日発行のニュース 54号に掲載しています。

年度	月 日	で き こ と
2006	4 .15	<b>第10回定期総会開催</b>
	4 .28	グリーンピア南紀住民訴訟・大阪高裁敗訴判決。上告せず確定。
	7 .13	県職員互助会のヤミ退職金の是正を求めて県に公開質問。 県は7億1100万円を返還させると回答。その後返還が実現。
	8 .31	和歌山市清掃(株)の委託業務丸投げ問題に関して和市に公開質問 市長は、指名停止6ヶ月と違約金247万円の支払を求めると回答、実現。
	9 .20	県政史上、初の県庁搜索(大阪特捜・談合疑惑)
	10 .20	県が設置する不正疑惑究明調査委員会の委員にオンブズをいれることを要望。 木村元知事、オンブズを委員に入れると回答。しかし辞職、逮捕で実現せず。
	11 .2	石泉閣訴訟・大阪高裁判決、一審判決どおり勝訴。旅田元市長上告。
	12 .7	県庁秘書課が管理していた木村前知事の「裏金」の解明に関する公開質問。 県は親睦団体の存在を認めた以外は捜査中を理由に回答拒否。
	1 .26	和市委教・補助金不正流用に刑事告発を含む徹底調査を求め公開質問。 回答 - 刑事告訴を拒否。
	2 .5 ~ .9	県議政務調査費の使途点検 - 事務所費支出のある県議事務所を、南は田辺市から 東は橋本市までを現地調査。
2007	2 .21	県議に政務調査費の使途説明及び領収書と会計帳簿の提供を求め公開質問。 会計帳簿の写しは日本共産党に所属する議員のみが提供。
	3 .2	石泉閣訴訟・旅田卓宗元市長の上告棄却により約2億5500万円の勝訴判決確定。
	4 .25	<b>第11回定期総会開催</b>
	4 .25	旅田元市長の市会議員報酬の差押を申立。
	5 .18	政務調査費の事務所費・事務費・人件費支出で住民監査請求。 監査結果前に、大沢議員86万円、門議員22万円を返却。 監査結果後に、原議員、私達の主張を受け入れて事務所賃料35万円を返却。 住民監査請求の結果は却下と棄却。
	8 .16	政務調査費の事務所費・事務費・人件費支出で住民訴訟提起(第一次訴訟)。
	11 .19	県議選挙ポスター代の公費の使途率等の調査結果を公表。
	1 .16	第一次選挙費用公費負担金節約度ランキングを公表。
	4 .1	県議10名に対し無料提供の印刷物の実態を問う公開質問。
	5 .21	岸本県議の選挙ポスター代の住民監査請求。 ポスター代約58万円を自主返還。
2008	4 .23	<b>第12回定期総会開催</b>
	5 .2	県選管に大橋市長後援会の領収書改ざん問題に関する公開質問。
	5 .13	大沢、泉、原各県議の選挙ハガキ代で住民監査請求。
	5 .22	富安、藤山、向井各県議の選挙ポスター代で住民監査請求。

年度	月 日	で き こ と
2008	5.29	小川、新島、山下、各県議の選挙ポスター代で住民監査請求。
	7.7	仁坂知事に選挙カー公費負担金問題で公開質問。
	8.11	岸本県議の選挙カー代、運転手代、燃料代の公費負担問題で公開質問。
	10.2	岸本県議の選挙カー代、運転手代、燃料代で住民監査請求。 運転手代と燃料代を全額自主返還。選挙カー代約13万円は全額返還勧告
	11.21	会計検査院指摘の不正経理をうけて全庁調査等の申し入れ 知事 - 申し入れを拒否
		この間の選挙費用公費負担金の追及により、06年と07年に実施された6件の選挙で、仁坂知事の選挙カー代など延べ43件合計約499万円の返還が実現（岸本議員らの上記返還を含む）。
2009	4.15	第13回定期総会開催
	5.22	県・急傾斜地崩壊防止工事費の住民監査請求。 物件移転補償費3万6000円の返還勧告。他は却下と棄却。
	8.11	県と県内9市の情報公開度ランキングを公表
	1.13	松本県議に後援会収支報告書で公開質問。
	2.5	松本県議の後援会収支報告書の虚偽記載で刑事告発 - 不起訴。
	3.2	旅田元市長有罪確定 - 市議失職で報酬の差押不能に - 石泉閣損害金任意弁済せず。
2010	4.21	第14回定期総会開催
	4.27	仁坂知事に市町村交付金徴収漏れ相当損害金で公開質問。
	6.23	県卓球協会への大会運営補助金で住民監査請求。 県900万円、和歌山市400万円の補助金全額返還。 事前視察の時の県職員接待費（夕食代等）も返還。
	8.6	県施設「ピック愛」失念交付金徴収漏れ損害金問題で住民監査請求 - 棄却。
	8.12	県施設「労働センター」失念交付金徴収漏れ損害金問題で住民監査請求。 是正のための適切な措置を講じるよう知事に勧告 - 勧告に従い是正。
	11.15	県独自の汎用電子申請システム利用が低迷している実態を調査・公表。
	3.8	非常勤行政委員報酬を不合理な月額制から合理的な日額制にすることの申入。
	4.8	坂本県議に公金詐取問題で公開質問。
2011	4.26	第15回定期総会開催
	7.15	県議2006年度政務調査費で住民監査請求。
	8.19	県議13人の2006年度政務調査費で住民訴訟（第二次訴訟）。
	10.14	第2回県議選挙費用公費負担金「節約」率ランキングを公表。
	11.21	県議選・予備ポスター活用状況をアンケート調査。
	4.17	濱口県議に選挙カー公費負担金で住民監査請求。 3万3750円を返還。
2012	4.25	第16回定期総会開催
	9.14	閲覧費用導入等情報公開改悪条例の取り下げと廃案を求めて要望。 議会採決、共産党と公明党の議員が反対。
	11.19	宮田元田辺市議の補助金不正受給の県の調査結果に公開質問。

年度	月 日	で き こ と
2012	1.29	第一次政務調査費住民訴訟で和歌山地裁判決。県側控訴。当方付帯控訴。39人の計約7797万円の違法支出を認める。
2013	4.17	<b>第17回定期総会開催</b>
	9.17	当会のニュース発行100号を迎える。
	10.24	特定秘密保護法案の制定に反対する声明を発表。
	1.30	第一次政務調査費住民訴訟で大阪高裁判決。上告せず確定。39人の計約7232万円の違法支出を認める。返還実現。
2014	4.22	<b>第18回定期総会開催</b>
	8.1	企業誘致で制度見直しを要望。
	10.24	第二次政務調査費住民訴訟で和歌山地裁判決。双方控訴。13人の計約1473万円の違法支出を認める。
2015	4.15	<b>第19回定期総会開催</b>
	6.19	森県議のモンゴル視察費で公開質問。
	7.30	第二次政務調査費住民訴訟で大阪高裁判決。上告せず確定。13人の計約1360万円の違法支出を認める。返還実現。
	9.2	森県議のモンゴル視察費で住民監査請求。38万8000円全額返還。
	12.4	県議政務活動費の取扱いに関する要望 - 収入額超過の支出報告の改善。
	3.29	浅井県議の政務調査費(事務所費、事務費、人件費)で住民監査請求。
2016	4.27	<b>第20回定期総会開催</b>



## 当 面 の 予 定

5月16日 PM 4:00 ~  
ニュース発送作業日  
5月25日 PM 6:00 ~  
第1回全員会議  
6月27日 PM 4:00 ~  
編集会議  
5月16日 PM 4:00 ~  
ニュース発送作業日  
7月21日 PM 6:00 ~  
第2回全員会議

## 重要連絡

これまで、奇数月の第4水曜日に定例化していた会員会議の日程を、7月の第2回より奇数月の「第三木曜日」に変更します。ご注意ください。



## 次回会員会議のご案内

日 時 5月25日(水)午後6時 ~  
場 所 和歌山合同法律事務所・会議室

こぞってご参加下さい。